



令和4年2月5日

# 自主防災ときとう

発行 時任町会自主防災部  
防災部長 佐久間英昭  
函館市時任町19-13  
電話 51-8429  
(時任町会館内)

## 災害発生 72時間を生き延びる方法!

### 緊急地震速報のなる

### タイミングでタイプを判断できる



地震が「海溝型か直下 崩壊の恐れがあります。」

型」を判断できれば生存率が上がります。緊急速報と『揺れ』のどちらかが先かに注目をしましょう、緊急地震速報が鳴った後に揺れます。最初は小さく縦に揺れ、後でゆっくりとした大きな横揺れが数分間続きます。海溝型は、津波が特徴です。直下型地震は、緊急地震速報が鳴るよりも早く、いきなりドンと突き上げるように大きく縦揺れをする。津波は起きませんが強い揺り返しがあり、建物のビ、ラジオの情報収集確認。

※直下型地震は、緊急地震速報が鳴るよりも早く、いきなりドンと突き上げるように大きく縦揺れをする。津波は起きませんが強い揺り返しがあり、建物のビ、ラジオの情報収集確認。

鳴った後 揺れ	緊急地震 速報が	鳴る前に 揺れる
<b>海溝型地震</b>		<b>直下型地震</b>
<b>揺れ方</b> ☆ゆっくり回りながら、だんだん強く		<b>揺れ方</b> ☆ズトンと突き上げてから横揺れ
<b>時間</b> ☆長い(2~3分)		<b>時間</b> ☆短い(1分以内)
<b>特徴</b> ☆広範囲で揺れる津波が起きる		<b>特徴</b> ☆自分のエリアに近いところだけ揺れる
<b>対処方法</b> ☆海、河川に近いところにいる人は、高い所へ逃げて!		<b>対処方法</b> ☆揺り返しがあり、逃げるか、とどまるか、冷静に判断する

### ※避難は難を避けること

「もしも、こんな時に地震が来たら?」と、想像するのも大事な1歩です。その時、あなたはどうしますか。

### ※問題

寝静まっている真夜中に、不意に携帯電話の緊急速報の音が鳴り続けて大きな揺れがやってきました。枕元やベットサイドにあるとその場ですぐに役に立つ物は、次の選択の中から間違っている物を1つ選んでください。

正解は3番です。

### 枕・布団

枕、布団で頭を守ることが大事です。ダンゴムシのようになり頭を守る事が大事。

### スリッパ

飛び散ったガラスの破片などで足に怪我すると避難できなくなります。

### 懐中電灯

家具や家財が移動し、散らばるなど、家の様子がいつもと違うので、暗い中での移動する際は十分に気を付けてください。

### 笛

崩れた家の構造物や重たい家具で身体を圧迫され大きな声が出せないことがあります。その時、笛があれば自分の居場所を知らせるようになります。

- (1) 頭や身体を守る枕・布団
- (2) 移動中の怪我を防ぐスリッパ
- (3) 飢えから身を守る備蓄食料
- (4) 停電時に使う懐中電灯
- (5) その場にいなながら安全確認できる笛

